



# 世界遺産×SDGsでむなかた再生

令和2年4月14日  
宗像市



## 1 経済

- ・働く場の不足
- ・地域産業の衰退
- ・観光資源の活用不足



稼ぐ力と地域価値の向上

## 2 社会

- ・まちの低密度化
- ・空き家の増加
- ・コミュニティの衰退
- ・担い手不足
- ・高齢化の進展



コンパクトシティ、高齢者福祉、教育

## 3 環境

- ・海の汚染
- ・異常気象による自然災害の頻発



環境保全、地球温暖化の緩和と適応



## 経済

- ・観光DMOの構築
- ・官民連携による創業支援
- ・農を支える担い手育成
- ・農産物のブランド化
- ・農水産物の付加価値向上

## 社会

- ・既存ストックや空き家の利活用の推進
- ・都市機能と居住の誘導
- ・歩いて暮らせるまちづくり
- ・コミュニティの再構築
- ・世界遺産学習を核としたふるさと学習
- ・高齢者の生き生き健康づくり

三側面をつなぐ統合的取組  
世界遺産×SDGsで  
まちなか再生

## 環境

- ・森里川海づくりの環境教育
- ・漁場の再生と水産資源の回復
- ・海洋ゴミの回収・再利用の検討
- ・環境保全活動の拡大とネットワーク化
- ・国土強靱化地域計画の推進
- ・登録認証制度の導入によるSDGsの推進

多様な世代が生き生きと暮らせる持続可能な地域循環共生社会の形成



## 取組目標

全ての人自分らしい生活を送ることができる社会の実現

## 統合的取組

① 世界遺産の保存・活用でまちなか誘導



② トレファームで健康長寿



③ 宗像国際環境100人会議



④ i-都市再生でまちづくり



## 課題

- ・ゴミの投棄や文化財のき損
- ・担い手不足
- ・空き地、空き家の増加
- ・医療費、介護保険料負担の増大



# ①世界遺産の保存と活用でまちなか誘導（三側面をつなぐ統合的取組）



世界遺産への来訪



宗像版DMO

まちなか暮らし体験メニュー



世界遺産の海を守る活動



宗像版DMOが「暮らし体験」「環境保全活動」「企業・創業」をコーディネート

## ②トレファームで健康長寿（三側面をつなぐ統合的取組）



UR  
日の里団地

×

トレファーム®

=

生きがいつくり  
コミュニティ再構築



### ③宗像国際環境100人会議（三側面をつなぐ統合的取組）



海をメインテーマに世界の各分野で活躍するリーダーや学識者、企業、NPO、学生たちが集まり、地球環境問題について解決策を協議するシンポジウム。

2019年の会議テーマは「常若（とこわか）」。

SDGsの思想や概念を、“衰えることなく、常に若々しくあれ”という常若の思想に置き換え、宗像から世界に発信し、持続可能な未来の創造に向けて取り組んだ。



# ④ i-都市再生のまちづくり（三側面をつなぐ統合的取組）



## — 「i-都市再生」が学校教育を変える —

i-都市再生データを活用した地域学習のコンテンツを使った授業を教員向け研究発表会で実践発表

まちづくりシミュレータソフトで「i-都市再生」データを読み込み、地域を学べる仕組みを中学校社会科の授業で実践



仮想現実のまちづくりに挑む生徒たち

### まちづくりソフトで社会科授業

宗像市など共同開発  
施設の適正配置  
シミュレーション

宗像市と民間企業が国の補助を受けて共同開発したまちづくりソフトを使った初の社会科授業が、市立河東中 で開かれた。今後も課外で開かれた。今後も課外で開かれた。

**河東中**

初授業は21日、1年生20人がクラスごとに分かれ、各班でパソコンを操作し住宅地や駅周辺などエリアごとに大型画面に映し、学校や病院、警察署、消防署、遊園地などを自由にシミュレーション配置した。適正な配置で住民の満足度が上がると、人口が増える。逆だと人が流出する。各班代表が操作後に「住宅地の近くに病院や買い物施設を」「水たまりやメリーゴラウンドなど市民が喜ぶ施設を」などを提案した。

市立河東中は「税金や財政も考える高度な授業もできる。次世代の担い手に将来のまちづくりに関心を持ってほしい」としている。

【前田敬徳】



# 経済、社会、環境の各側面の相乗効果



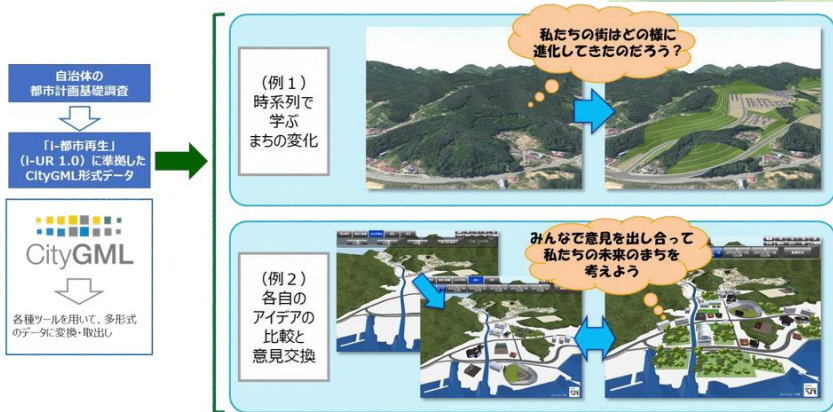
## 宗像国際環境100人会議



## トレファームで健康長寿



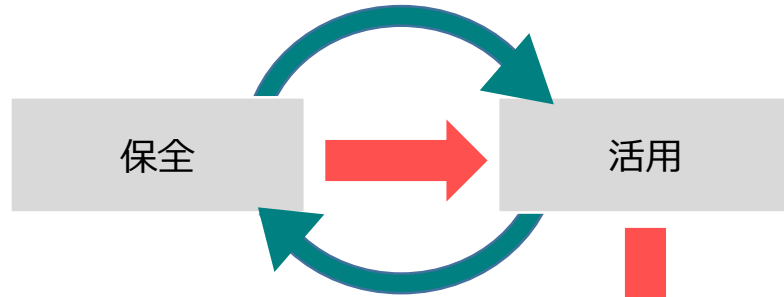
## 国土強靱化地域計画の推進



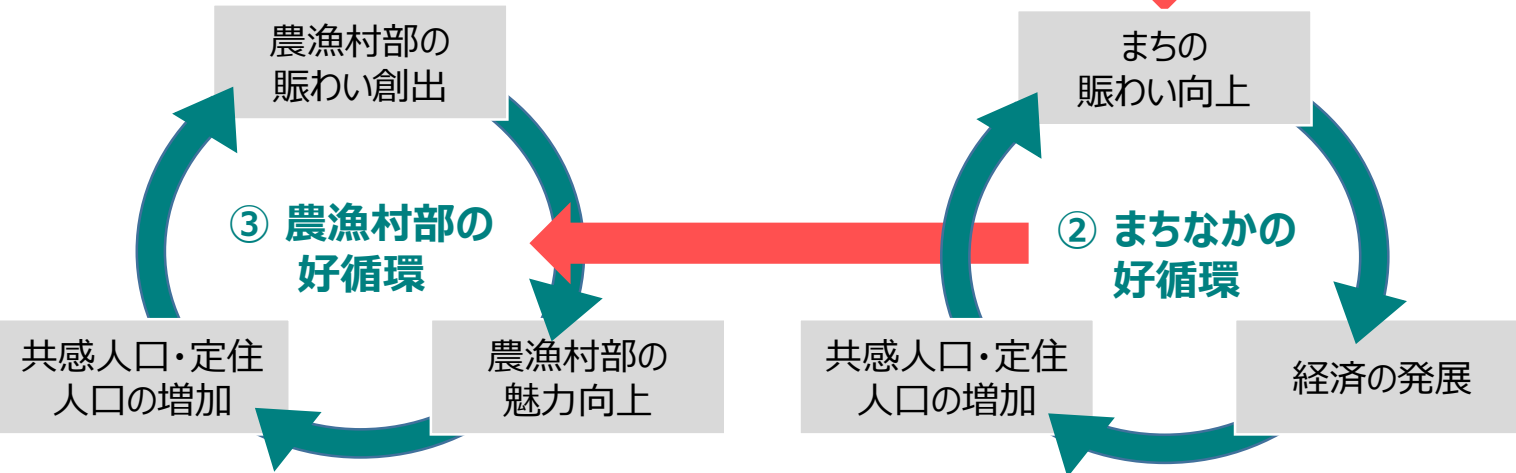
# 自律的好循環の具体化に向けた事業の実施



## ① 保全・活用の好循環



## ④ まちなか・郊外の活性化から世界遺産保全へつながる好循環



## 登録・認証制度の導入

SDGsの推進に積極的に取り組む地域事業者を対象として登録・認証制度を導入し、宗像国際環境100人会議等で地域事業者の事業の成長をサポートする地域金融機関を表彰する。

## 金融機関との連携

株式会社福岡銀行をはじめとする地域金融機関が、登録・認証を受けた地域事業者への伴走型支援体制を構築し、低金利での投融资等、サポートを行う。これによりSDGsの推進が資金の還流と再投資を促すことで、地域を活性化し、好循環が形成される。

「SDGsの推進が、自律した地域経済につながる」仕組みを構築する